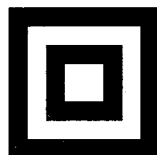
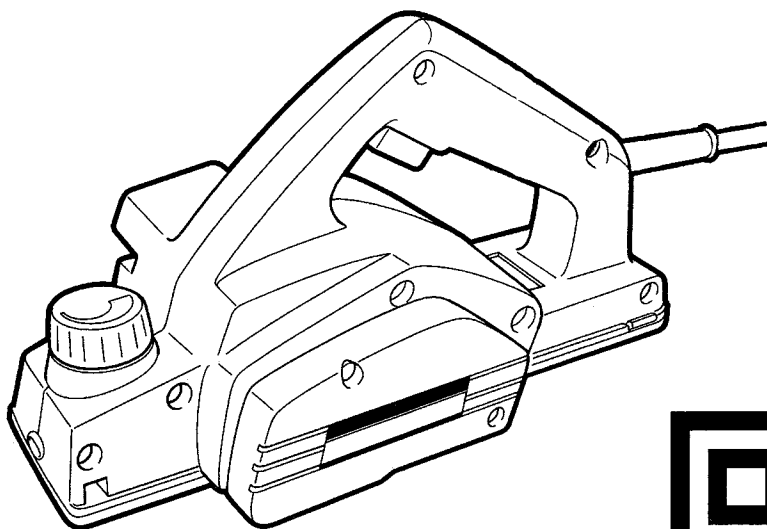
TOSHIBA

東芝電気かんな

形式名　SMP - 82A1

取扱説明書

このたびは、東芝電気かんなをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき使用上の注意事項、本機の能力、使用方法等について十分ご理解の上で正しくご使用くださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は、お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

目　次

注意文の「⚠警告」、「⚠注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取扱をしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱をしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■安全上のご注意

- ●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警　告

1.作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2.作業場の周囲状況も考慮してください。
・電動工具は雨中で使用したり、湿った、または、濡れた場所で使用しないでください。
・作業場は十分に明るくしてください。
・可燃性の液体やガスのある所では使用しないでください。

3.感電に注意してください。
・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫等の外枠)

4.子供を近づけないでください。
・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5.使用しない場合は、きちんと保管してください。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

6.無理して使用しないでください。
・安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7.作業に合った電動工具を使用してください。
・小型の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
・指定された用途以外には使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。
・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. コードを乱暴に扱わないでください。
・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

11. 加工する物をしっかりと固定してください。
・加工する物を固定するために、クランプや万力等を利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⚠ 警告

12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。

16. 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 差込みプラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

18. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等に十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

19. 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品の交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに修理を依頼してください。
- スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⚠ 警告

20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- 取扱説明書及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップにお申しつけください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

■電気かんな使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電気かんなとしてさらに、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

2. 使用中は、本体を確実に保持してください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

3. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
- 台が不安定ですと、けがの原因になります。

4. 材料を手に持っての切削はしないでください。かんな刃にふれケガの原因になります。

5. 本体を万力など保持して、かんな刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
- かんな刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。

6. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
- 回転しているかんな刃に触れ、けがの原因になります。

7. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに点検・修理を依頼してください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体等に破損や亀裂、変形がないことをよく確認してください。
- 破損や、亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注　意

1. かんな刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
   ・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. かんな刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
   ・不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
3. 使用中は、本体の底面な手など身体を近づけないでください。
   ・かんな刃に触れ、けがの原因になります。
4. かんな刃の交換や刃高調整後は、かんな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。
   ・ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
5. スイッチを切った後も、惰性で回転しているかんな刃に注意してください。
   ・手などが触れると、、けがの原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
   ・けがの原因になります。

■仕　　様

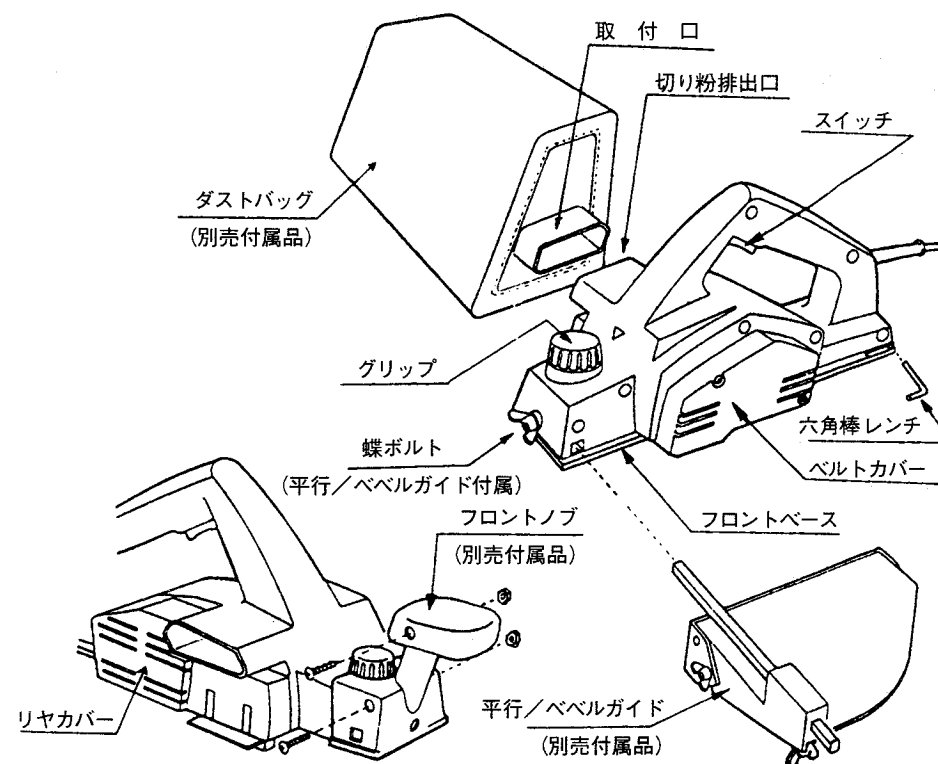
形　式	SMP - 82A1
切削巾	82 mm
最大切込深さ	0.6 mm
最大相じゃくり深さ	15 mm
電源	単相交流　50-60Hz
定格電圧	100 V
消費電力	405W
全負荷電流	4.2A
無負荷回転速度	MAX. 20,000 min^{-1}
電源コード	2心耐震形ビニルキャブタイヤコード　1.8m
質　量	1.7kg
標準付属品	・替刃セット・・・・・・・・・・・・・・・・・1個 ・六角棒レンチ（本体に取付け）・・・・・・・・1個 ・取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
別売付属品	・フロントノブ ・平行／ベベルガイド ・ダストバッグ

■用　　途

●木材の平削り、面取り
●窓の水がえしなど段差削り

■購入時の点検

東芝電気かんなをお買い上げになりましたら、次の点について、お調べください。
●輸送の途中で損傷した箇所がないかを確認してください。
●ネジやボルトの緩みや脱落がないかを確認してください。また、本取扱説明書をよくお読みになった上で、試運転をしていただき、回転方向を確認してください。
●梱包箱には以下の部品が入っております。足りない部品がないか、確認してください。
1．電気かんな本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1台
2．替刃セット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1セット
3．六角棒レンチ（本体に取付け）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1個
4．取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
●万一不具合な点がありましたらお買い上げ店へご連絡ください。

■各部の名称

■作業前の準備

電気かんなをご使用になる前に次の準備をしてください。

⚠ 警　告

1. ご使用に先だち、本機を接続される電源に労働安全衛生規則第333条等に規定された感電防止用漏電しゃ断装置が設置されているかどうか確認してください。設置されていない場合は、速やかに設置されることをおすすめします。
2. 作業する場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているか確認してください。

●延長コード

延長コードをご使用の際には使用する長さに応じて電流を流すのに十分な太さのものをご使用ください。あまり長くしたり、細い線を使ったりしますと、電圧の降下が大きくなりモータの力が弱くなりますので、必ず適切なサイズにしてください。

形　　　式	コードの公称断面積	コードの最大長さ
SMP - 82A1	1.25mm²	15m
	2.0mm²	30m

■ご使用前に

⚠ 警　告

1.スイッチが切れていることを確かめてください。スイッチが入っているのを知らずに差込みプラグを電源に差込むと不意に起動し思わぬ事故の元となります。

2.必ず銘板に表示されている電圧で使用してください。

・100V品を200Vで使用するとモータの回転が異常に高速となり、機体が破損する恐れがあり大変危険です。

3.危険が生じた場合は、ただちに電源を切ってください。

・使用中に異常な振動・音・発熱、その他の危険が生じた場合は、スイッチを切る、差込みプラグを電源から抜く、電源のナイフスイッチやブレーカを切る等の方法ですばやく電源を切ってください。

●電源コンセントの点検を行ってください。

差込みプラグを差込んだとき、ガタガタだったりすぐ抜けるようでしたら電源コンセントの修理が必要です。最寄りの電気工事店に修理を依頼してください。

●試運転を行ってください。

作業前には人のいない方に向けて試運転し、異常な音や振動やガタがないか確認してください。
異常があった場合は、使用を中止し修理に出してください。

●騒音に関する法、条例に留意してください。

騒音に関しては、法令や各都道府県等の条例で定める規制があります。周囲にご迷惑をかけないよう法、条例で定める規制値以下でご使用ください。必要に応じ、しゃ音壁を設けてください。

●かんな作業に合ったしっかりした作業台をご用意ください。

作業台がぐらぐらしていますと危険です。作業台は安定した状態に設置してください。

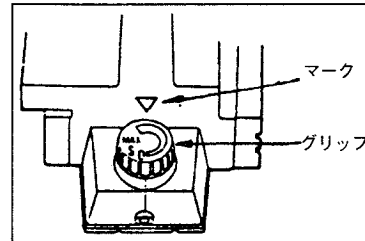
■スイッチの操作

●このかんなのスイッチは常時『切』位置に戻るようになっています。
スイッチを人差し指で引金を引くように引けば、モータが回転し、指を離せばモータが止まります。

■ご使用方法

●切込み深さの調整

⚠ 警　告

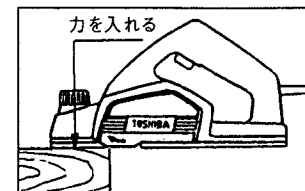
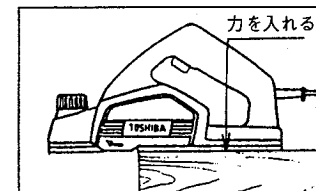
万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いておいてください。

1）グリップはＳ－ポジション～０～ＭＡＸポジションまで動きます。
Ｓ－ポジションでは、通常かんな刃がベース面よりわずかに後退した状態になります。
０－ポジションは切り込み深さ0mmを示し、ＭＡＸポジションは最大切込み深さ0.6mmを示します。
（ご注意）０－ポジションで、わずかに削れる場合があります。

2）グリップを回転させて、任意の切込み深さ位置をマークに合わせてください。切り込み深さは0mmから0.6mmまで調整できます。

●切削はスイッチの引金を引いてモーターの回転が最高になったところで、フロントベースを木材にしっかり密着させて削り始めてください。削り台の前の方を下げておいた方が楽に削れます。

●仕上げ面は、荒削りでは切り込みを深くして能率的に削りますが、削りくずがつまらないできれいにとび出すように送りの速度を加減してください。仕上げ削りのときは切込み深さを浅く0.1mm付近にして、送りを遅くするときれいな面が得られます。

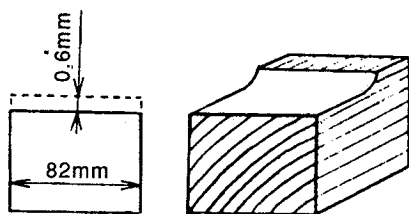
●削り始めと削り終りは次のような注意が必要です。

まず、かんな胴を木材の端からはなし、フロントベースを木材の上に密着させ、電気かんなを削る木材の面と平行になるように支えます。スイッチを入れ、そのまま静かに前へ進めます。
削り始めには、フロントベース側に力を入れ、削り終わりには、リヤベース側に力を入れて、いつも電気かんなを木材に平行に動かしてください。

（削り始め）

（削り終り）

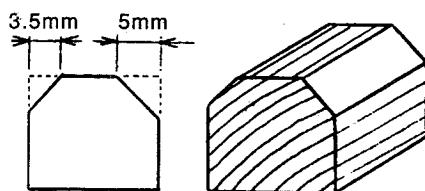
●削り終わった後の電気かんなを片手で持つ時は、危険防止のため、電気かんなの刃部（ベース面）が自分の体の方に向かないように保持してください。

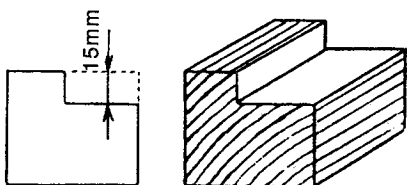
●作業が終わった後は、グリップを反時計方向に止まるまで回し、Ｓ－ポジションに置くようにしてください。

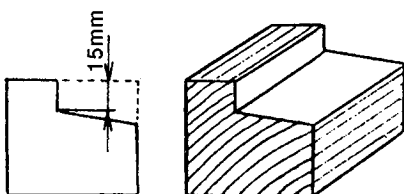
（ご注意）Ｓ－ポジションでも、まれに削れる場合があります。

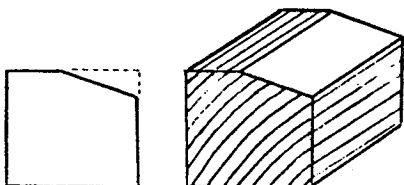
●本機を用いて次のような作業ができます。

●**平削り**

切削巾：82mm

最大切込み深さ：0.6mm

●**面取り**

フロントベースには3.5mmおよび5mmのＶ溝が設けてあります。これを利用して3.5mm、5mmの面取ができます。

●**相じゃくり**

相じゃくりは最大15mmまで可能です。平行／ベベルガイド（別売付属品）を用いますと、きれいに削れます。

●**水がえし**

水がえしは最大15mmまで可能です。平行／ベベルガイド（別売付属品）を用いますと、きれいに削れます。

●**角度切り**

別売付属品の平行／ベベルガイドを用いますと、0°～45°の間の任意の角度で削ることができます。

■ご使用中の注意

⚠警　告

1.回転中のかんな刃には、手や指を近づけないでください。運転中切り粉排出口には、手や指を入れたりしないでください。重大なけがをする恐れがあります。
2.運転中あるいはスイッチ切った後でも、かんな刃にコード線を近づけないでください。感電や電気ショートなど事故の原因となります。
3.かんなを裏返しにして（ベース面を上向きにして）使用しないでください。このかんなはかんな盤として使用できません。

⚠注　意

スイッチを入れても起動しなかったり、使用中にかんな胴が止まったり、異常な音がした時は、直ちにスイッチを切ってください。

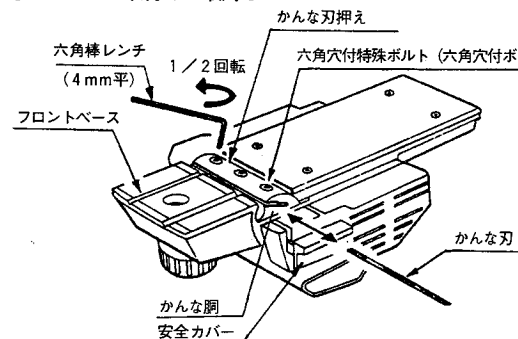
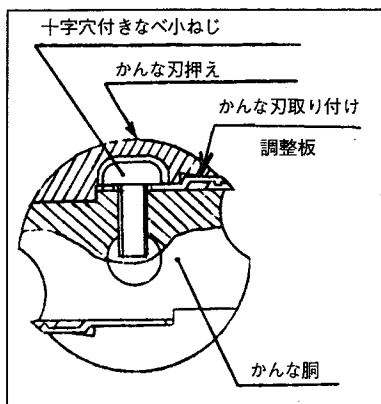
●かんなの本体には耐衝撃性樹脂を採用しておりますが、高い所から落としたり、乱暴な取り扱いをしますと、破損する恐れがあります。

■かんな刃の取付け、取り外し

このかんなに取り付けられているかんな刃は両側の刃が使えますので、片側が使えなくなっても刃を反転して取り付けることにより新品の状態で作業を始めることができます。また、両側の刃が使えなくなりましたら新しい刃と交換してください。

⚠警　告

1.万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いておいてください。
2.かんな刃は鋭利な刃物ですので、手や指を傷つけないよう取扱いには充分注意してください。

●**かんな刃の取付け・取外し**

1）まず、かんな本体後部に収納されている六角棒レンチを取り出し、かんなを裏返します。
2）かんな刃押さえを締め付けている3ヶ所の六角穴付特殊ボルト（六角穴付ボタンボルト）を六角棒レンチで反時計方向に1／2回転させて緩めます。その際かんな刃で手など傷つけないよう充分注意してください。
3）次に、刃の部分に注意しながら引き抜き、刃を反転させて、新しい刃面が前方へ出る様に刃の溝を上側にして差し込みます。この時かんな刃の溝がガイドになります。
（かんな刃の両側の刃が使えなくなった場合は新しい刃と取り替えてください）
4）六角棒レンチで時計方向に回し3本のボルトをしっかりと締め付けます。
5）かんな胴を回転し、反対側のかんな刃も同様に2）～4）の手順で取り付けを行います。

●ご注意
かんな刃の取り付け、取りはずしを行う時には、かんな刃取り付け調整板を固定している十字穴付きなべ小ねじは絶対にゆるめないようにしてください。
この十字穴付きなべ小ねじは、通常内部に隠れていて、外部からは見えない部品です。

■保守・点検

⚠警　告

1.万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、差込みプラグを電源から抜いておいてください。
2.最高の状態で安全にご使用いただくために、常に保守点検をしてください。

●本体についた切屑等は常に掃除をしてきれいな状態を保ってください。
●各部取付ネジで緩んだところがないか、定期的に点検してください。もし緩んでいるところがありましたら締め直してください。
●各部分にヒビ・割れ・欠けなどないか定期的に点検してください。
●電源コードの絶縁被覆や、電源コードの保護管が損傷していないか、また電源コードの内部で断線がないか、確認してください。

■修理のときは

●本機の修理はご自分でなさらないで、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップにお申しつけください。
修理の知識や技術のない方が修理されますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。